



令和4年
11月15日号
第12号

発行
内外政治
研究G

安倍元首相の遺志を誤解させる 文藝春秋の「見出し」

元NHK記者が書いた 皇位継承問題の「秘録」

月刊「文藝春秋」12月号に掲載された元NHK記者岩田明子氏の生前の安倍晋三元首相に対する取材秘話を付けられた、「愛子天皇を認めていた」との「見出し」が、誤解を招くとして強い批判が起きています。

さらに皇統の存続を確かなものにするのが重要であるとの立場だった」と説明しています。

また、岩田氏は、秋篠宮妃紀子さまが懐妊された際、女性宮家や女系天皇を容認する皇室典範改正案の扱いで悩む当時の小泉純一郎首相に安倍元首相（当時、官房長官）が、「お子さまが男子の場合、皇室典範改正は正当な皇位継承者から継承権を奪うことになる」と助言したとも書いています。



安倍元首相（愛子天皇論は） 悠仁親王の皇位継承権奪

いかにも、女系天皇論者が飛びつきそうな見出しですが、岩田氏は安倍元首相が「将来、愛子天皇誕生への道筋に向けても責任ある議論を進めなければならぬ」と語ったとしながらも、「解釈の難しい発言ではあるが、あくまでも秋篠宮や悠仁さまへの皇位継承を前提としたうえで、

これについては、11月11日付け産経新聞論説委員の阿比留瑠比氏もコラム「極言御免」で、安倍元首相が週刊誌などによる愛子さま天皇論について、「悠仁さまから皇位を奪うことになる。それは篡奪であり、あり得ないと憤っていた」と書いています。元宮内庁担当のジャーナリストは「岩田氏が引用

した安倍元首相の発言が事実だとしても、それは悠仁親王へと男系で継がれるべき皇位継承に万が一のことがあった場合を想定してのことだ。安倍元首相には、旧皇族に繋がる方との縁談があれば、愛子さまが男系の皇統を一時的に継いで女性天皇になることはあり得るとの考えがあったのかも知れない。いずれにせよ、文藝春秋の見出しは、記事の全体の趣旨からも逸脱しており、意図的なものを感じる」と話している。

両陛下を提灯行列で奉迎 兵庫「豊かな海づくり大会」

天皇皇后両陛下は「全国豊かな海づくり大会」にご出席のため11月12日から泊2日で兵庫県を行幸啓になりました。神戸空港や沿道では約3千人が日の丸の小旗を振ってお迎えし、同日夜からは神戸市の湊川神社から元町商店街を通るコースで、市民200人がご訪問に感謝を表わす提灯行列を行いました。

13日は明石市内で式典があり、沿道には雨の中、1kmにわたって奉迎の列ができました。両陛下は午後



米空母も飛び入り

20年ぶりの国際観艦式

創設70年を迎えた海上自衛隊は11月6日、相模湾で20年ぶり2度目となる国際観艦式（観閲官・岸田首相）を実施しました。海外からは米、豪、印など12カ国の18隻が参加し、海自のLIVE中継（YouTube）を50万人以上が視聴しました。中国は参加せず、参加決定を決めかねていた韓国は、国内世論向けに、彼らが嫌う「旭日旗」は海自

旗とはデザインが微妙に異なるという理屈を仕立てて、補給艦を派遣。北朝鮮による「瀬取り」の監視をしているカナダ海軍の艦艇2隻と仏海軍の哨戒機も参加しました。米空母「ロナルド・レーガン」も「飛び入り」参加し、緊迫するインド太平洋地域の情勢への緊密な連携をアピールしました。



画像：海上自衛隊

3年ぶりに行われる令和5年1月2日の皇居での新年一般参賀は、事前申し込み（11月18日締切）による抽選が行われます。宮内庁の庁舎前での記帳は事前申し込み不要です。同庁HP（QRコード）でご確認ください。

